学　　科	鍼灸マッサージ科	学　年	２年生	期　別	通年	科目の実務経歴	有
授業科目名	鍼灸応用実習Ⅰ			担当教員	千田純子　杉山慶介		
授業の方法	実　技			単位数	２単位	時間数	60時間
学修内容	各症候に対する鍼灸施術にあたって、必要な基礎的知識と技術を習得する。						
授業の到達目標	Ⅰ.ﾌﾟﾛﾌｪｯｼｮﾅﾘｽﾞﾑ　1. 他者を思いやり尊重する態度　3. 自己の役割を誠実に果たす姿勢 4. 自己点検・自己評価および自己研鑽に努める態度 Ⅱ.医学的知識　8. リスク管理 Ⅲ.基本的臨床能力　5. はき施術を安全かつ適切に施す能力 Ⅳ.ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ　1.身だしなみ・礼儀やマナー　2.聴く・観る・書く・伝える 3.患者に対するホスピタリティ・共感的態度　4.他者と良好な関係を構築できる能力						

授業計画

前　　期		後　　期	
回	テーマ	回	テーマ
1	１．接触鍼	1	６．膝関節痛（膝周辺の触診）
2	２．皮内鍼・円皮鍼	2	６．膝関節痛（膝蓋骨辺縁、関節裂隙）
3	３．肩こり（肩周辺の触診、僧帽筋）	3	６．膝関節痛（鵞足）
4	３．肩こり（肩甲挙筋）	4	６．膝関節痛（陰谷、委陽、曲泉）
5	３．肩こり（大菱形筋・小菱形筋）	5	６．膝関節痛（灸治療）
6	３．肩こり（天柱・肩井・肩中俞・肩外俞）	6	７．眼精疲労（攅竹、瞳子膠）
7	３．肩こり（大杼・肺俞・魄戸・附分・膏肓）	7	７．眼精疲労（太陽、和膠、肝俞、膈俞）
8	４．肩関節痛(肩甲下筋･棘上筋･棘下筋･小円筋)	8	７．眼精疲労（施灸治療）
9	４．肩関節痛（肩髃・肩膠）	9	９．消化器系疾患（腹部の触診）
10	４．肩関節痛（天宗・臑俞・巨骨）	10	９．消化器系疾患（棒灸の使い方）
11	４．肩関節痛（灸治療）	11	９．消化器系疾患（足三里、中脘、梁門）
12	５．腰痛（腎俞・大腸俞・志室・下志室）	12	９．消化器系疾患（腹結、大腸俞、関元俞）
13	５．腰痛（関元俞・外胞肓・気海俞）	13	９．消化器系疾患（施灸治療）
14	５．腰痛（灸治療）	14	10．不眠（完骨、太陽、肝俞）
15	５．腰痛（広背筋）	15	11．脱毛症（頭皮への施灸）

評価基準	評価:90-100点（A評価）、80-89点（B評価）、70-79点（C評価）、60-69点（D評価）、59点以下（ F･不可）		
評価方法	出席状況（20%）、中間試験（40%）、期末試験（40%）により評価します。	実務経験	開業歴35年
履修上の注意	臨床を意識して真摯な態度で授業に臨んでください。豊富な臨床経験に基づく講義も行いますので、聞き漏らさない意識が重要です。	授業時間外の学習	経穴、体表解剖、疾患の予習復習をしっかり行ってください。
使用教材	参考図書:「最新鍼灸治療学」上･下　木下晴都著（医道の日本社） その他　:配布資料	連絡先	事務窓口を経由し、直接訪ねてください。（木曜日のみ）